

知っておこう アイヌ文化

チシポ

イランカラフテ。チキサニで人気が高い体験の1つに、ミニ体験「刺しゅう体験」があります。最近では、申し込み受付開始から瞬く間に定員いっぱいとなることも珍しくなく、多くの方々の興味・関心の高さを伺い知ることができます。さて、その美しいアイヌ文様刺しゅうを生み出すのに必要な道具として、針（アイヌ語でケム）があります。今では簡単に手に入られる針ですが、昔は非常に貴重で大切なものでした。その大切な針を紛失しないための便利な道具が、アイヌ語でチシポと呼ばれる針入れです。チシポは長さ20センチ前後で、針を刺しておく布紐と、その布紐を納める筒からできています。布紐には、銅貨を通して美しく糸かがりをし、ノリウツギ（サビタ）などを使った筒には美しい彫刻を施しました。布紐の銅貨を通した方と、反対側にした輪に紐を通し胸に下げることによって、大切な針を簡単に保管することができます。さて、チキサニでは4月11日(土)と12日(日)、木彫体験を開催し、2日間かけてチシポを制作しました。参加者の皆さんは、講師から教わりながら慎重に彫刻刀でノリウツギから作った筒にアイヌ文様を彫り、それぞれ美しいチシポを完成させていました。



アイヌ総合政策課 アイヌ総合政策グループ 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301



3月17日

拡幅工事を進めていたコープ横
踏切が開通

ウポポイ

開設に向け

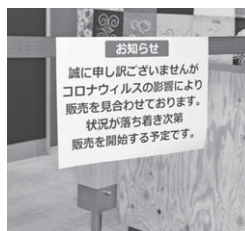


3月26日

国道36号社台ー苦小牧の一部延長
約4.8キロが4車線化



新型コロナウイルスの影響で物
販などはしないオープンに…
(写真は当日視察した町幹部)



4月1日

駅北商業ゾーン（ポロトミンタラ）の
観光インフォメーションセンターがOPEN